

## 熊本・白藤遺跡群

しらふじ

の遺物が出土している。特に、溝から大量の木製品が出土し、また近世の溝からは底部に「安信」銘をもつ陶磁器片も出土している。

今回報告する墨書のある曲物は、近世の溝から出土した。遺構の細かな年代は、出土遺物が未整理のため限定できていない。

- 所在地 熊本市島町大字屋敷
- 調査期間 第六次調査  
一九九七年(平9)四月～一九九八年一月
- 発掘機関 熊本市教育委員会
- 調査担当者 林田和人・原田範昭
- 遺跡の種類 集落跡
- 遺跡の年代 弥生時代～江戸時代
- 遺跡及び木簡出土遺構の概要

白藤遺跡群は、熊本市南西部の島町・鳴町・刈草町・白藤町にまたがる遺跡の総称である。



弥生時代中期から江戸時代にかけての複合遺跡で、微高地に集落が立地している。今回の調査は第六次調査で、弥生時代中期・後期の土器・石器類と、中世・近世の土器・陶磁器のほか石製品・木製品など、大量

- 享保拾年五月九日 (巳ノ午)  
辻  
全  
210×860 061
- 木簡の釈文・内容
- 享保拾年五月九日 (巳ノ午)  
辻  
全  
210×860 061
- 曲物の蓋の側板であろうか、釘跡らしき孔が穿たれている。なお、享保一〇年は西暦一七二五年にあたる。

### 9 関係文献

熊本市教育委員会『熊本市埋蔵文化財調査年報』三(10000年)

(林田和人)

上：年紀部分  
左：展開図

